

## ■行事

- 1 (火) プール納め
- 5 (土) 保育参加・試食会 (0~2 オクラス)
- 10 (木) 身体計測 (3~5 才)
- 11 (金) 身体計測 (0~2 才)
- 14 (月) 防犯訓練
- 17 (木) 避難訓練
- 24 (木) 誕生会
- 25 (金) 運動会リハーサル
- 29 (火) //



## ■職員研修

- 2 (水) 子ども遊び研究 (中村)
- 3 (木) リスクマネジメント (原口)
- 5 (土) 自閉症、知的障がい幼児 (中村)
- 7 (月) カウンセリング実践 (中村)
- 10 (木) 高次機能障がい幼児 (中村)
- 11 (金) 子ども子育て新制度 (原口)
- 14 (月) 保育環境向上 (木村)
- 16 (水) 南区障がい児対応 (板倉)
- 17 (木) インクルージョン保育 (中村)
- 25 (金) 障がい児実践研究 (原口)

## ☆運動会に関するお願い等☆

### ★リハーサル日程について

以下の日付はリハーサル、全体練習を計画していますので全クラス9時までの登園をお願いいたします(25、29)。その他状況に応じて個別に早めの登園をお願いする場合があります(ボードに掲示します)。

# FootMarkLetter.9

## ☆運動会によせて☆

本番、練習では秋空のもと、「がんばれー」、「やったー」など、元気な声が響き渡ります。練習を重ねるたびに、年長になるほど自分なりの目標を持って頑張ろうとしている姿がうかがえます。それを見ている小さい子たちの中にも、運動会へのイメージがはっきりしてきているようです。みんなで一つのものに向かってエネルギーを注ぎ込むことが、次の活動をぐんぐん高めていくことにつながっていくのだと考えます。そのことから運動会では日ごろの全身運動(歩く、走る、跳ぶ、止まるなど)を年齢に合わせて楽しい雰囲気の中で取り上げていきます。

### ■運動会をとおして

- ・一生懸命に取り組み、自分の充実感を味わう
- ・身体を動かすことを楽しみ、運動能力を高めていく
- ・みんなと共通の体験をすることにより力を合わせることを知り、他の子の良さを認め、自分も必要とされていることを理解し、同じ喜びを持つ
- ・みんなで一つのをやり遂げる達成感を得る
- ・たくさんの来場者の声援の前で披露することにより違う体験をし、子どもたちに自らの育ちを体感させる
- ・親子のふれあいを提案し、絆を深めていただく

上記のような部分を得られるよう実施します。月齢も発達も早さも人それぞれですので、結果よりも、子どもらしさやこれまでの過程を十分認めることが大切だと考えます。ついほかの子と見比べたりしがちですが、その子の「半年前、一年前」と今回の頑張りを比較して、「よかったよ」と、たくさんほめてあげてください。

それではどうぞお楽しみに・・・

## ☆はじめに☆

急に涼しくなり、「夏はもう終わりなのかな?」と感じる今日この頃ですね。今日プール納めも終わり、子どもたちの遊びは“秋”に移っていきます。そして来月の運動会に向けての活動も増えてきます。子どもたちはこれから元気いっぱいにかっこや体育遊びに取り組みます。年長にとっては、保育園生活最後の運動会です。みんなで力を合わせて楽しい運動会にしたいと思っています。また、この過ごしやすい時期に豊かな自然の中に出かけて季節の変化を感じ取り、足腰をたくましくしたいとも考えています。日中と朝夕の気温差が大きくなるこの時期は、衣服の調節をして薄着の習慣をつけましょう。

## ☆励ましを受けて育った子は自信を持つ☆

子どもは「周りから必要とされておる」ことをとおして自己肯定感が芽生え、そのつながりから他人にも優しく接することができます。そういう面において親、大人からの励ましは絶大なパワーになります。その励まし方も「自信を損なう」ことの無いようにする必要があります。その代表例が「～～をしたらダメ」があります。親自身が恐れ、「木登りはダメ」「ガラスに近づくのはダメ」そうなると子どもは「自分のすることで安全なものはない」と信じるようになり、益々自分に代わって誰かが判断してくれるのを待つという優柔不断な面を持つようになります。「子どもに自分の能力を発揮させることが親にとって最も大事な仕事である」という学者さんもいます。親の役割は子どもを危険から遠ざけておくのではなく、けがをした際に備えて絆創膏を十分用意して、子どものやることをあたたかく見守ってあげることだと思います。心配のしすぎは形を変えた怒りに等しいとも言われます。励ます時に大切なのは親御さん自身の未知への恐れや評価されることへの恐れ、そのような面を押しよくさせることが大事ではないでしょうか。

(参考文献：アメリカインディアンの教え)